

ご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当センターの研修につきまして下記のとおりご案内申し上げますので、受講者の
派遣方につきまして格別のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

令和4年度研修

河川構造物設計



共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

近年、地球温暖化に伴う異常気象の影響で、広範囲の局地的集中豪雨による河川氾濫等が
度々発生し、堤防等の公共施設の復旧に多大な時間・費用が費やされています。

本研修は、治水、利水に加え、環境にも配慮した河川構造物の設計をするため、第一線で
活躍されている講師による実践的な講義や、基礎工、擁壁、樋門について設計演習を行うこ
とで河川構造物の基本から応用まで幅広い技術力の修得・向上を目的としています。

また、全国の実務担当者との交流を図る機会として好評を得ています。皆様のご参加を
お待ちしております。

【受講された方々の声】

- ・設計の基礎を長い期間で学べたのが有意義であった。
- ・各講師が分からないことに対する質問に丁寧に回答し、非常に満足であった。
- ・設計プログラムで計算している箇所を手計算することが出来て良かった。

研修期間 令和4年6月28日(火)～7月1日(金) 4日間

研修場所 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
TEL 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>
当センターのホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

メール配信 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた
方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。
なお、この場合は、すべての研修について配信されます。
ご希望の方は、下記 URL または QR コードよりお申し込みください。
<https://www.jctc.jp/training/mail-service>



一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育 (CPD) 認定プログラム (昨年度 25.5 ポイント)
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育 (CPDS) 認定プログラム (昨年度 26 ユニット)

※研修経費の助成制度がある道県 (政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります)

北海道・青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・
高知・大分・宮崎の19道県。

詳細は、各道県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

令和4年度研修「河川構造物設計」実施要領

1. 目的

治水・利水に加えて、環境にも配慮した河川構造物を設計するため、基礎工・擁壁・樋門の設計について、講義、演習により基本から応用までの幅広い知識と技術を修得する。

2. 対象者

国、地方公共団体、独立行政法人及び民間企業等において河川構造物等の設計業務に携わる者

3. 募集人数

40名

4. 研修期間

令和4年6月28日(火)～7月1日(金) 4日間

※全寮制を取り止め、通学制とします。

※当分の間、研修期間中に体温の測定をします。その際37.5℃以上の発熱が確認された場合は、当該研修の受講をお断りさせていただきますのでご承願います。

※マスク持参のお願い

各自マスクを持参していただきますようお願いいたします。

※今年度より近隣のホテルと提携し、研修生特別料金で宿泊できるようになりました。当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。

<https://www.jctc.jp/training/hotel>

5. 集合日時

6月28日(火)、10時00分～10時30分までに受付を行ってください。

6. 教科目、講師及び研修場所

(次頁以降参照)

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：風間、菊地
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

※ 申込みはインターネット、郵送、FAXいずれでも受け付けています。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296

8. 研修会費及び納入先

(1) 研修会費 75,000円(1人当たり、消費税含)

(2) 研修会費納入先

三菱UFJ銀行 新宿支店 普通預金 No.0000316
ザイ) ゼンコクケンセツケンシュセンター
一般財団法人 全国建設研修センター

新型コロナウイルスへの対応として、受講終了後1ヶ月以内にお振込ください。

※1 振込手数料はご負担ください。

※2 お振込みの際は「振込依頼人名」等の頭に受講通知書等に記載されている「申込番号」を入力してください。

※3 当日持参も可能です。

9. 申込締切日 令和4年6月14日(火)

10. その他

- (1) ご持参いただくもの(筆記用具、関数機能付電卓、共済組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お知らせ

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当(税込500円)の販売を行います。

支払いは、直接販売員へお願いします。

令和4年度研修「河川構造物設計」時間割

講義日時	講義時間	教科目	細目	講師		
				所 属	氏 名	
6/28 (火)	10:00~10:30	受 付				
	10:30~11:00	開講の挨拶・オリエンテーション				
	11:00~12:30	1.5 河川構造物の概要	現在の河川構造物の課題 これからの河川事業としての方向性	国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 企画専門官	奥中 智行	
	13:30~15:30	2.0 河川構造物の特徴	河川構造物の種類、特性 河川構造物の設計の考え方 道路構造物との違いなど	一般社団法人建設コンサルタンツ協会 河川構造物専門委員 セントラルコンサルタント株式会社 東京事業本部 環境水工部 水工第一グループ 上級主任技師	寺前 裕二	
	15:40~17:10	1.5 河川構造物の設計の考え方①	土圧・水圧・揚圧力等 設計条件の考え方			
6/29 (水)	9:00~10:30	1.5 河川構造物の設計の考え方②	構造物の安定の考え方	一般社団法人建設コンサルタンツ協会 河川構造物専門委員	寺前 裕二	
	10:40~14:30 (12:10~13:00昼休)	3.0 基礎工の設計・演習	基礎工の選定方法、直接基礎、 杭基礎の設計、残留沈下量、 すべり計算等の演習	セントラルコンサルタント株式会社 東京事業本部 環境水工部 水工第一グループ 上級主任技師		
	14:40~15:40	1.0 河川管理施設の 戦略的維持管理について	河川管理施設の戦略的な維持管理に 向けた取り組み	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 企画専門官	小淵 康正	
	15:50~17:50	2.0 護岸設計の概要	高水護岸、低水護岸、災害復旧申請採用護岸、 多自然川づくりの護岸等の概略の設計の考え方	一般財団法人 国土技術研究センター 河川政策グループ 堤防技術チームリーダー 首席研究員	佐古 俊介	
6/30 (木)	9:00~12:00	3.0 擁壁の構造計算手法	擁壁の設計の考え方 (設計条件、安定計算、断面計算)	一般社団法人建設コンサルタンツ協会 河川構造物専門委員	大瀧 諭	
	13:00~16:00	3.0 擁壁の設計・演習	逆T擁壁の設計・演習	日本工営株式会社 流域水管理事業本部 河川水資源事業部 河川部 次長		
	16:10~17:40	1.5 樋門の設計①	樋門設計の基本	一般社団法人建設コンサルタンツ協会 河川構造物専門委員長 株式会社 建設技術研究所 東京本社 水工部 部長	伊藤 豊	
7/1 (金)	9:00~10:30	樋門の設計②	設計業務の流れから留意事項	一般社団法人建設コンサルタンツ協会 河川構造物専門委員長	伊藤 豊	
	10:40~15:30 (12:10~13:00昼休)		個人演習	株式会社 建設技術研究所 東京本社 水工部 部長		
	15:30~15:40	閉 講 式				

※ 教科目及び講師については変更することがあります。

【参考】令和4年度、当センターが実施いたします河川、砂防・海岸、防災（一部）部門の研修は次のとおりです。

研修名	※対象者	研修初日	日数	研修会費(円/人)
地域の浸水対策 【集合+ライブ研修】	一般	5月18日(水)	3	66,000
砂防等計画設計 【集合研修】	一般	5月31日(火)	4	79,000
河川構造物設計 【集合研修】	一般	6月28日(火)	4	75,000
河川整備計画・事業評価 【集合+ライブ研修】	一般	8月30日(火)	4	74,000
土砂災害対策 【集合+ライブ研修】	一般	9月14日(水)	3	70,000
水害対応タイムライン 【集合+ライブ研修】	一般	11月30日(水)	3	70,000

※「一般」… 行政、民間を対象とした研修

令和4年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

新型コロナウイルス感染症の感染防止のための対応方針

- (1) 当センターの宿泊施設等の状況が、濃厚接触のおそれが避けられないため、当面全寮制を取り止め通学とします。
- (2) 「人が密集していない」状況にするため、募集人数を減じます。
- (3) 「換気の悪い密閉空間」にしないため、講義の休憩時間等には必ず換気を行います。
- (4) 「近距離での会話等」を避けるため、グループ討議及び同発表等は実施しません。
- (5) 「人が密集している」バスの移動を避けるため、現地研修は実施しません。

※新型コロナウイルス感染症の状況次第によっては、宿泊や現地研修等を再開いたします。
具体的な研修内容、実施方法等については、ホームページ等を通じてお知らせします。